別記　宛先フラグ値

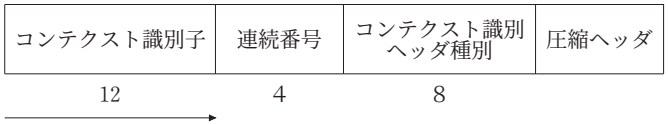
値	説明
0	宛先アドレス領域有り
1	宛先アドレス領域無し

別表第十号　圧縮ＩＰパケットの送出手順



注　ヘッダ部の構成は、別記第１に示すとおりとする。

別記第１　圧縮ＩＰパケットのヘッダ部の構成



注１　コンテクスト識別子は、ヘッダ圧縮を行ったＩＰパケットのフロー（IPv4パケットのプロトコル又はIPv6パケットのネクストヘッダ並びに送信元アドレス、宛先アドレス、送信元ポート及び宛先ポートの５つの領域の値が同一の組み合わせを持つＩＰパケットの集合をいう。）を示すものとする。

２　連続番号は、同一コンテクスト識別子を持つ圧縮ＩＰパケットの順序を示すものとする。

３　コンテクスト識別ヘッダ種別は、圧縮ヘッダの種別を識別するために使用する領域とし、その割当ては別記第２に示すとおりとする。

４　圧縮ヘッダは、IPv4ヘッダ部又はIPv6ヘッダ部及びＵＤＰヘッダ部をコンテクスト識別ヘッダ種別に指定される方法で圧縮した情報を書き込むための領域とする。

別記第２　コンテクスト識別ヘッダ種別の割当て

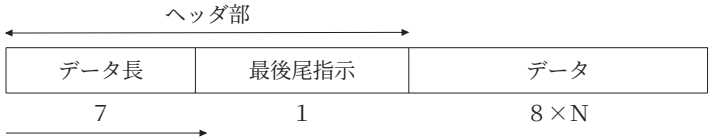
コンテクスト識別ヘッダ種別の値	割　当　て
0x20	部分IPv4ヘッダ及び部分ＵＤＰヘッダ
0x21	IPv4ヘッダ部の識別子
0x60	部分IPv6ヘッダ及び部分ＵＤＰヘッダ
0x61	圧縮ヘッダなし
上記以外	未定義

注１　部分IPv4ヘッダは、IPv4ヘッダ部からパケット長、ヘッダチェックサム、拡張情報を除いたものとする。

２　部分IPv6ヘッダは、IPv6ヘッダ部からペイロード長を除いたものとする。

３　部分ＵＤＰヘッダは、ＵＤＰヘッダ部からデータ長及びチェックサムを除いたものとする。

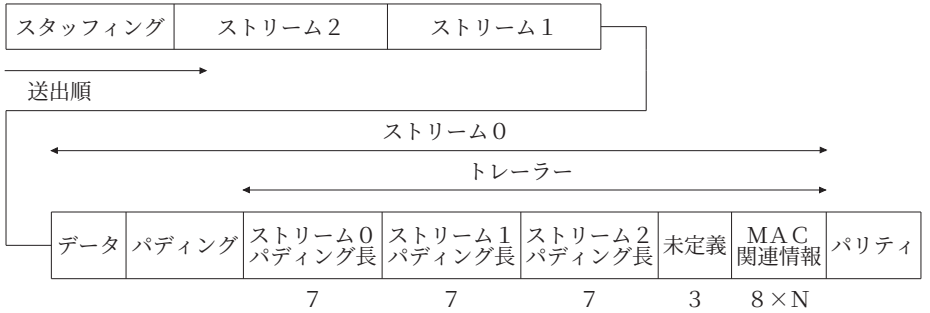
別表第十一号　トランスポートフレームの送出手順



注１　データ長は、最後尾指示より後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。ただし、データが全てパディングである場合は127とし、これ以外の場合は121以下とする。

２　最後尾指示は、サービスパケットの最後を含むか否かを示す領域とし、含む場合はその値を１とし、含まない場合はその値を０とする。ただし、データが全てパディングである場合は、１とする。

別表第十二号　データチャネルＭＡＣプロトコルカプセルの送出手順

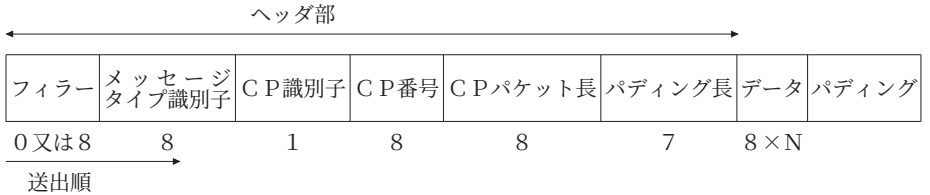


注１　ストリーム０パディング長、ストリーム１パディング長及びストリーム２パディング長は、それぞれストリーム０、ストリーム１及びストリーム２に含まれるパディングのバイト数を書き込む領域とする。

２　ＭＡＣ関連情報は、ＭＬＣ（連続するデータチャネルＭＡＣプロトコルカプセルの集合をいう。以下同じ。）に関する情報の伝送のために使用する領域とする。

３　未定義は、全て０とする。

別表第十三号　コントロールプロトコルパケットの送出手順



注１　フィラーは、コントロールチャネルＭＡＣプロトコルカプセルを構成するために使用する領域とする。

２　メッセージタイプ識別子は、メッセージの種別を識別するために使用する領域とする。

３　ＣＰ識別子は、コントロールプロトコルパケットの種別を識別するために使用する領域とする。

４　ＣＰ番号は、一のコントロールプロトコルパケットに含まれるメッセージタイプ識別子及びＣＰ識別子と同一のメッセージタイプ識別子及びＣＰ識別子を含むコントロールプロトコルパケットを識別するために使用する領域とする。